



「うんとこしょ、どっこいしょ！」熱演に拍手

10/15 「旭小学校学芸会」から

オープニングを飾った旭小学校1年生「大きなかぶ」の一コマです。

町内各小学校で学芸会が開催され、観覧の保護者や地域のみなさんを大いに楽しませていました。

びほろ町

ぎがい

9月定例会のあらまし

行政報告・補正予算など 2 P

特別委員会を設置

美幌町役場新庁舎等建設調査特別委員会 4 P

決算審査特別委員会 4 P

こんなことを聞きました

一般質問 8人登壇 6 P

開かれた議会を目指して

議会報告会・意見交換会を開催 14 P

先進地事例を調査しました

総務文教厚生常任委員会道内視察調査 15 P

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No. 226 平成29年11月1日

◇発行／北海道美幌町議会 ◇編集／議会運営委員会

9月定例会

新庁舎建設調査のため特別委員会設置、合同納骨塚の寄贈による条例改正を審議

9月定例会の概要

9月定例会のあらまし

【19日】会期を3日間と決定し、町長から行政報告を受け、議員4名(戸澤・中嶋・坂田・上杉)が一般質問に登壇。防災・減災、一時預かり事業、学校教育に対する町長のリーダーシップ、ボランティア人材の確保について活発な議論が交わされました。

【20日】前日に続いて、議員4名(稲垣・吉住・岡本・大江)が一般質問に登壇。屋内多目的運動場建設、除排雪、白内障手術への対応、J R 石北線存続問題について活発な議論が交わされました。その後、新庁舎建設に係る特別委員会設置および委員選任について議員発議があり、議長を除く13名の委員により、美幌町役場新庁舎等建設調査特別委員会の設置が決定しました。

【21日】人事案件の同意(教育委員会委員・職員懲戒審査委員会委員)2件、規約・条例の改正5件、補正予算案(一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・公共下水道特別会計・病院事業会計)5件の計12件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。次いで、合同納骨塚の寄贈について追加行政報告を受け、追加議案の条例改正(美幌町墓園等条例の一部改正)及び一般会計補正予算案を原案どおり可決しました。平成28年度各会計決算認定は決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続調査としました。その後、3件の意見書案を可決し、5件の報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出、議員の派遣を承認し、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告(要旨)

◆役場庁舎耐震診断結果(中間報告)及び新庁舎の建設について

建設から57年を経過する役場庁舎及び議事棟について、耐震診断を実施した結果、耐震性を満たしていないことが判明しました。

現庁舎の耐震補強工事は現実的ではなく、財政上有利な起債を最大限活用し、平成32年までに新庁舎を建設すべきとの判断に至りました。

新庁舎の建設は数十年に一度の大型事業となることから、情報発信に努め、町民説明会など広く町民参加をいただきながら事業の推進に努めていきます。

◆ご寄附・ご寄贈について

埼玉県在住・荒井憲誠様から高齢者福祉の充実のために30万円、文化振興のために「びほーる」舞台用機器(104万円相当)、東京都在住・柳瀬俊泰様から芸術・文化の発展のために絵画2点(414万円相当)をご寄附ご寄贈いただきました。ご厚志をありがたくお受けし、ご趣旨に沿って活用していきます。

◆合同納骨塚の設置について

町内在住・平井ミサオ様から寄贈を受ける合同納骨塚(432万円相当)が完成し、引き渡しをいただける運びとなりました。ご趣旨に沿って早期に運用開始いたします。



～ 建設から57年経過した役場庁舎 ～

補正予算

補正予算は全て原案どおり可決しました。
補正予算の主な内容は次のとおりです。

一般会計

- 子ども発達支援センター運営及び移転改修事業費
491万1千円
- 乳幼児から中学生までのインフルエンザワクチン
予防接種委託料
469万7千円
- 消防庁舎用地測量業務委託料
265万7千円
- 屋内多目的運動場建設工事基本設計業務委託料
748万5千円



～ 美幌消防署 ～

特別会計・企業会計

- 国民健康保険特別会計
療養給付費負担金の精算による増額補正
2,255万3千円
- 介護保険特別会計
介護給付費、介護予防事業交付金の精算による
増額補正
840万4千円
- 公共下水道特別会計
社会資本整備総合交付金の精算による増額補正
- 病院事業会計
16万6千円
医師採用による給与費などの増額補正
2,786万5千円

各会計補正額と補正後の総額

会 計 名	補正額	補正後の総額
一 般 会 計 (第4号) (第5号)	4,683万円	111億6,010万円
国民健康保険特別会計 (第1号)	2,255万円	30億8,905万円
介護保険特別会計 (第3号)	840万円	17億7,859万円
公共下水道特別会計 (第1号)	16万円	11億4,929万円
病院事業会計 (第1号)	2,786万円	24億9,819万円

※()内は、補正回数
※金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。

人事の同意(美幌町教育委員会委員・美幌町職員懲戒審査委員会委員)

選任の同意により、次の方々に決まりました。

- 美幌町教育委員会委員
加藤 哲彦 氏
- 美幌町職員懲戒審査委員会委員
森 一也 氏 / 久山 祥子 氏 / 広島 学 氏

合同納骨塚が寄贈設置されました

9月定例会では、3件の条例改正(子ども発達支援センター条例、墓園等条例等)を審議し、原案どおり可決しました。ここでは、主な条例改正についてお知らせします。

■美幌町墓園等条例の一部改正

市街共同墓地へ合同納骨塚のご寄贈に伴い設置及び管理に関し、必要な事項を定めるため条例を改正しました。

【美幌町合同納骨塚の概要】

- ◇設置場所
美幌町字元町26番地
(市街共同墓地)
- ◇埋 蔵 数
800体(予定)
- ◇使 用 料
焼骨1体 6,000円
生前予約1件 15,000円



～ 合同納骨塚 ～

美幌町役場新庁舎等建設調査特別委員会を設置

町長の行政報告「役場庁舎耐震診断結果(中間報告)及び新庁舎の建設について」を受け、新庁舎等建設について、美幌町議会としての基本的な考え方をお示しする必要があることから、調査・研究のため、特別委員会を設置し、委員を選任(議長を除く13人)しました。



吉住委員長



稲垣副委員長

美幌町役場新庁舎等建設調査特別委員会

委員長 吉 住 博 幸
委員 坂 田 美栄子
委員 岡 本 美代子
委員 大 江 道 男
委員 早 瀬 仁 志
委員 中 嶋 すみ江
委員 戸 澤 義 典

副委員長 稲 垣 淳 一
委員 古 舘 繁 夫
委員 橋 本 博 之
委員 新 鞍 峯 雄
委員 上 杉 晃 央
委員 高 橋 秀 明

平成28年度各会計決算認定は決算審査特別委員会を設置し付託

平成28年度一般会計、特別会計(国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・公共下水道・個別排水処理)及び水道・病院事業会計の決算認定について、特別委員会を設置して付託。次のとおり委員を選任し、閉会中の継続審査を行うこととしました。

審査結果については、次の議会において報告し、審議する予定です。

一般会計等決算審査特別委員会

委員長 大 江 道 男
委員 吉 住 博 幸
委員 上 杉 晃 央
副委員長 中 嶋 すみ江
委員 早 瀬 仁 志
委員 戸 澤 義 典

企業会計決算審査特別委員会

委員長 高 橋 秀 明
委員 坂 田 美栄子
委員 新 鞍 峯 雄
副委員長 岡 本 美代子
委員 橋 本 博 之
委員 稲 垣 淳 一



～委員会報告に向けた書類審査の様子～

委員会付託とは…… 本会議での案件について詳しく検討を加えるため、審査を託すことといいます。

3件の意見書案を可決し関係機関へ提出

軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書

軽油引取税の免税制度が、平成30年3月末での適用期限を迎える。

スキー場の圧雪車の燃料、降雪機の軽油について免税となっており、この制度がなくなれば、スキー人口の減少等から現在でさえ厳しい経営環境をさらに圧迫し、スキー場の経営は一層厳しいものとなり、北海道の観光及び経済にも大きな打撃を与えることが危惧される。

美幌町内のスキー場においても、安全・安心かつ快適なゲレンデを提供するため雪面整備に圧雪車等を使用しており、スキー場の経営維持に軽油引取税の免税措置は不可欠なものとなっている。

よって、索道事業者、農林水産事業者、鉱物採掘事業者など幅広い産業への経営が圧迫され、地域経済を支えている産業の衰退を招くことのないよう、軽油引取税の課税免除措置を継続するよう強く要望する。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実強化を求める意見書

- ① 市町村が継続的に森林の整備などを着実に進められるよう、「森林環境税(仮称)」を早期に創設すること。
- ② 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- ③ 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みに対する支援措置を充実・強化すること。

適正な地方財政計画の策定を求める意見書

地方自治体の基金は、2004年度の地方交付税・臨時財政対策債の一般財源の大幅削減による自治体財政危機、自治体にかかわる国の突然な政策変更、リーマンショックなどの経済環境変動下でも、災害の復旧・復興や住民の福祉向上のために必要な事業に対応できるよう、財政支出の削減等に努めながら積み立てたものであり、これを地方財政計画へ反映しないこと。

一般質問には 8人が登壇

質問者と質問項目

■戸澤義典議員…6頁

- ① 防災行政無線の状況と戸別受診装置導入
- ② 土砂災害警戒区域ハザードマップ作成状況
- ③ 柏ヶ丘公園周辺の通行規制と案内看板設置

■中嶋すみ江議員…7頁

- ① 一時預かり事業
- ② 産婦人科開設
- ③ 図書館書籍消毒機の導入
- ④ 学校への扇風機配備

■坂田美栄子議員…8頁

- ① 学校教育に対する町長のリーダーシップ
- ② 学校司書の配置
- ③ 教育環境の整備

■上杉晃央議員…9頁

- ① 新庁舎建設の推進方策
- ② 高齢者カフェの必要性
- ③ ボランティア人材の確保

■稲垣淳一議員…10頁

- ① 美幌駐屯部隊の充実整備
- ② 屋内多目的運動場建設
- ③ 林業大学の誘致

一般質問とは

一般質問は定例会において行われ、議員が町政全般にわたり執行機関(町や教育委員会など)に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあって最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

■吉住博幸議員…11頁

- ① 公共施設の整備
- ② 除排雪

■岡本美代子議員…12頁

- ① 国保病院での白内障手術実施の可能性

■大江道男議員…13頁

- ① J R 石北線存続問題
- ② 学校図書館の充実
- ③ 学校給食費無償措置

防災減災

問 同報系行政無線・戸別受信装置導入の考えは

戸澤

義典議員

答

事業費が多額のため財政負担を考え検討したい

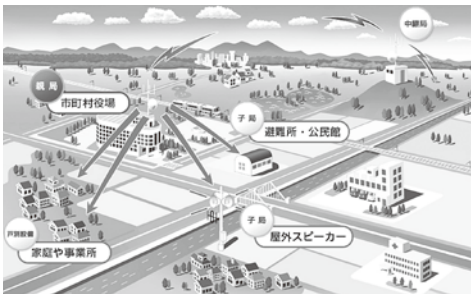


問 全国市町村の同報系防

災行政無線(屋外拡声器や戸別受信機を介して、直接・同時に防災情報や行政情報を伝えるシステム)整備状況は、78.9%となっているが、美幌町の整備状況及び戸別受診装置導入の考え方は。

答 屋外スピーカーの設置や戸別受信機の配備など、施設整備には多額の事業費を要することから、導入には至っていない。

問 美幌町に施設整備をする、約4億円から5億円の費用が必要になるが、過去には、防災対策事業債や過疎対策事業債



～ 同報系防災行政無線 ～

避難勧告・指示

伝達手段は

(借金)を利用して、後年度に交付税措置(国からの財源措置)があったと聞いている。昨今の弾道ミサイル発射等、防災機能強化のためにも、施設整備の必要があると思うがどうか。

答 住民が多様な情報手段から情報を取得できるよう、財政負担含めて検討していきたい。

問 美幌町における、国・道からの緊急災害情報等の伝達手段はどのようになっているのか。また、避難勧告・指示等、町独自の緊急情報伝達手段の現状は。

答 緊急事態発生時には住民に、迅速かつ確実に情報が伝達される必要があるため、緊急事態情報について、登録制メール「あんしんねつとびほろ」を自動配信に設定している。また、携帯電話を保有されていない方の情報伝達手段として、消防サイレンを活用し、緊急事態発生時の注意喚起をしている。

問 土砂災害防止法では、各都道府県が土砂災害警戒区域を指定することとなつ

ており、美幌町では、40の危険箇所のうち、10箇所が調査済みで警戒区域として指定されている。この10箇所の地域住民に対する周知状況及びハザードマップの作成状況について伺いたい。

答 土砂災害特別警戒区域の住民に対して、説明会を開催し、土砂災害ハザードマップを作成・配付のうえ、警戒避難等の周知徹底を図っている。

問 40の危険箇所のうち、土砂災害防止法に基づく基礎調査が済んでいない30箇所の調査予定は。

答 調査実施主体の北海道において、平成30年度に13箇所、平成31年度に17箇所の調査を予定しており、危険性が認められた区域については、土砂災害特別警戒区域に指定される。土砂災害に対する危険の周知、警戒避難態勢の整備に努めたい。

柏ヶ丘公園

案内方法は

問 墓地を含む柏ヶ丘公



～ 柏ヶ丘公園 ～

園内を車両通行禁止にしている理由は。また施設の利用実態に合った案内看板整備の考え方は。

答 公園は、住民の憩いの場であることから、指定された場所以外への車等の乗り入れを禁止している。特に園路は、ジョギング・クロスカントリースキーコースとして利用しており、利用者の安全確保のため車両通行を禁止している。今後の施設整備に合わせ協議を図りながら、分かりやすい案内看板の整備を行いたい。

子育て支援

問 一時預かりのリフレッシュ利用は

中嶋
すみ江議員 答

緊急・就労を優先しており現状では難しい



問 子育て中の方のリフレッシュのための一時預かり事業利用の考え方は。

答 子育て支援センターでの一時預かり事業の利用者は年々増加しており、現在、リフレッシュの事由による利用はできない。また、美幌町には一時預かりを利用できる民間保育事業者があることから、町の一時預かり事業においては、緊急・一時的に保育を必要とするケースを優先させている。

問 一時預かり事業の時間単位利用料金導入の考えは。

答 現在の料金は1日単位

と4時間単位となっており、利用者は増加しており、民間事業者もあることから、当面料金設定の変更は考えていない。



～子育て支援センター～

問 2時間以内の利用は、現行の料金設定との整合性などのように考えるか。

答 現在の利用は、1日単位が2割、4時間単位が8割となっており、保護者の就労による利用が、88%となっていることから、2時間程度の短時間の利用

は少ないと認識している。今後、利用目的等、研究していきたい。

国保病院・産婦人科

開設予定は

問 国民健康保険病院での産婦人科医師招へいの進捗状況は。

答 これまでも、地域の産婦人科診療のニーズに応えるため、複数の産婦人科医と連絡を取り、検討を続けてきた。現在は、分娩を除く産婦人科診療に対応可能な医師との交渉を進めている。早期の医師確保が実現できるよう招へい活動を実施したい。

図書館・書籍消毒機

導入検討状況は

問 図書館の書籍の衛生を

保つため、ブックシャワー（書籍消毒機）導入を以前から提案しているが、検討状況は。

答 近年オープンした北見市立中央図書館では、書籍消毒機が導入されているが、全国の公共図書館では導入されておらず、市民の要望の声も受けていない。現在、導入の予定はないが、本の汚れを拭き取るなど、清潔で安心して利用できる環境整備に努めていきたい。



～ブックシャワー～

学校学習環境整備

扇風機の導入を

問 夏場の学習環境向上のため、学校に扇風機を配備してはどうか。また、学校は

避難所となっており、避難所の暑さ対策にも利活用できると思うがどうか。

答 小中学校の扇風機配備状況については、大型扇風機を一部配備しており、行事・体育授業等に活用している。現在、教室への扇風機設置は考えていないが、保健室への設置や、避難所開設時の他の施設からの借用など柔軟に対応していきたい。

問 昨今の地球温暖化により、全国公立中学校の教室への冷房設置は増加しており、夏場の環境整備が進められている。避難所にもなる学校に、高齢者や障がい者、妊婦、乳幼児など体温調整困難な方への配慮が必要ではないか。

答 すべての教室に冷房空調設備があるのが理想だが、財源に限りがあることから、十分協議していきたい。

学校教育

問 町長の学校教育に対する考え方は

坂田
美栄子議員 答

子ども達が生き生きと学び育つ施策を推進したい



問 教育委員会制度が改正され、町長は美幌町教育大綱作成や総合教育会議の主宰者となり、教育行政に一層関与することが求められている。美幌ならではの教育のあり方や環境の充実など町長の考え方を伺いたい。

答 教育の総合的な政策の方針として、美幌町教育大綱に基づき、確かな学力を育む学力向上と教育環境の充実に向けた取り組みを進めたいと考えている。学力向上としては、小学校の全学年で35人学級を実施し、きめ細やかな学習指導を行っており、パソコンや

実物投影機などICT(情報通信技術)機器を計画的に配置し、学習環境の充実を図っている。



～美幌中学校に配置されているパソコン～

問 今後の美幌町の教育の姿は。

答 美幌町教育大綱のうち、特に「健やかな体を育成する教育の推進」と「豊かな心を育成する教育の推進」の二つが、学校教育

のベースになると考えているので、しっかりと取り組んでいきたい。

学校司書の配置

現状と課題は

問 学校司書の配置については、財政的に厳しい状況にあり、町立図書館と連携するとしていたが、現状と課題はどのようなになっているのか伺いたい。

答 図書館司書の学校訪問により、学校図書館の運営や選書、電算システムの導入支援などを行っているが、次期学習要領で学校図書館の重要性や文部科学省の学校図書館ガイドラインにより、望ましい在り方が示されたことから、学校図書館の整備充実を図る必要性があると認識している。学校司書の配置

については、財政状況も勘案しながら検討したい。

教育環境

整備状況は

問 児童・生徒の減少に伴い教員数が減少している。子ども一人一人の習熟度に応じたきめ細やかな対応のため、町内小中学校の連携した取り組みが必要では。

答 町独自で教育支援員の配置を行い、算数科・国語科の習熟度別授業に取り組んでいる。また学校施設整備については、印刷機の使用が競合しないよう、複合印刷機の導入を図っている。

問 特別支援学級など介助員の配置の考え方は。

答 介助員などの人員が足りない場合の増員については、町長と相談して対応しているが、今後においても学校の実態を把握し対応していきたい。

問 全国的に体育・技術・美術などの教員免許保有者が減少している。美幌町

では今後どのように対応していくのか。

答 町内中学校の主要5科目は、各校2人体制となっているが、それ以外の教科については教員が不足している。今後、管内の教育長部会や北海道教育局で協議し要望していきたい。

美幌町の教育の目指す姿…

『人間性豊かな教育を目指して』

◎正しい判断と行動のできる児童生徒の育成をはかる学校教育を推進する

美幌町教育大綱

～夢を育む体験！あたたかい心をつくるまちづくり～



平成28年1月
美幌町

新庁舎建設

問 町民積極参加による基本計画策定を

上杉

晃央議員

答

広く町民が参加する機会を設け推進する



問 町長から役場新庁舎建設の必要性が示された。役場新庁舎建設の基本計画策定段階から町民の意見を取り入れるとしているが、具体的な手法をどのように考えるか。

答 新庁舎の建設にあたっては、数十年に一度の大型事業となることから、丁寧な説明とご意見をお聴きする場面を十分に確保する必要があると考えている。具体的には、町民説明会の開催やパブリックコメントを通して町民の意思を反映するとともに、美幌町行政改革推進委員会の委員の皆さまに、

多様な角度・幅広い視点からご意見をいただきたいと考えている。

問 概算総事業費は30億だが、起債(借金)の償還ピーク時の実質公債費比率(町の収入に対する借金返済の割合。3年間の平均値で算出)はどのように推移するのか。

答 今後10年間で予定している公共施設の整備事業費を設定し算出したところ、起債償還額は年間10億円前後で推移し、ピークは平成40年度の12億5千万円、実質公債費比率は約10%を見込んでいます。

複合的庁舎整備

検討状況は

問 新庁舎建設にあたり、図書館との複合化の考えを伺いたい。

答 図書館との複合化については、利便性の観点から1階に書架を設置することが望ましく、建設制限、駐車場確保を踏まえた施設整備が必要ことから、現庁舎敷地内での複合化は大変厳しい状況にある。

高齢者カフェ

居場所づくり

問 美幌町では、毎年約1%程度、高齢者人口が増えている。単身高齢者や認知症予備軍の方が自由に出入りできる居場所(高齢者カフェ)作りが必要ではないか。

答 町内には、主に自治会を中心としたサロンや老人クラブのほか、「絆ーびほろ」などが高齢者の生きがい活動に取り組んでいる。

また、「びほろじー・ばーサークル輝」、「ふらっとホーム・さらら」「きたい★ち」が次々とオープンし注目されている。現在、美幌町生活支援・介護予防体制整備推進協議体において、高齢者活動の実態把握や課題整理のほか、地域資源の掘り起こし作業が行われており、高齢者の居場所づくりの必要性を強く感じている。



～ふらっとホームさらら～

答 美幌町のボランティア実人員は760人、平均年齢は68.5歳となっており、平均年齢は年々高くなっている。町からボランティアセンターに要請を行っているが、人の確保が大変であることを確認している。

問 人材確保のためのボランティアポイント制度導入の検討状況は。

答 厚生労働省では、ボランティアは自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為で、「自主性」「社会性」「無償性」としてしている。このため、ボランティア活動により対価が生じるポイント制度は検討していない。

問 現場の声をもつと聞き、人材不足の危機感を行政全体で共有する必要があると考えるがどうか。

答 全ての分野において危機感を共有しながら、スピード感を持って人材育成に取り組んでいきたい。

ボランティアポイント

導入検討結果は

問 ボランティア人材不足をどのように認識しているのか。

美幌自衛隊

問

駐屯部隊の存置・充実対策は

稲垣

淳

議員

答

体制維持・強化のため町民総意の活動を展開する



問 美幌町は、陸上自衛隊美幌駐屯部隊の存置・充実を図り、町の振興に寄与することを目的として、「陸上自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会」を発足している。しかしながら、昨今の隊員や装備品充足率の低下などから美幌駐屯地改編の危惧が高まっている。今後の対策の考えは。

答 期成会を発足後、部隊の増強と体制維持に向けた陳情活動を展開してきたが、平成10年に1千2百名を超えた隊員が約7百名に減少するなど、部隊の縮小と隊員の削減が進

屋内多目的運動場

建設の考え方

んでおり、その事実を重く受け止めている。道東・オホーツク地域の安全と安心を確保するために、美幌駐屯部隊が体制維持・強化されるよう、協力諸団体と連携し、町民総意による活動を展開していきたい。

問 過去に長距離射撃訓練施設設置について陳情していた経緯があるが現在の状況は。

答 平成23年から25年まで長距離射撃場の誘致に取り組んでいたが、然別演習場に同様の施設ができたことから一旦取り下げていた。今回再び誘致の準備を進めており、候補地として300ヘクタールある旧登栄牧場の跡地を提案している。

問 建設から40年以上経過したスポーツセンター・トレーニングセンターの耐震実施結果は。

答 スポーツセンターアリーナ部分・管理棟、トレーニングセンタールーム部分が耐力不足と診断されていることから、耐震補強工事を実施するなど施設の長寿命化を図ってきたい。

問 建設予定の屋内多目的運動場は、既存施設のスポーツセンター・トレーニングセンターと併設し、トイレ・休憩室、器具庫を利用することで建設コストが圧縮になると考えるがどうか。

答 既存施設に併設するには、必要な競技スペース

が確保できないこと。また近隣市町の類似施設を視察した結果、併設ではなく隣接させても、管理運営を一体的に行っているところも多かったことから併設しないこととした。



～ スポーツセンター ～

林業 大 学 校

誘致の考えは

問 北海道では、林業に関する人材育成を行うため「道立林業大学校」設立を検討している。美幌町において、学校の誘致を行う考えはあるか。

答 道立林業大学校誘致については、管内でも複数

の自治体で名乗りを上げ期成会が設立されている。美幌町においては、まず北網地域2市9町のオホーツク東部流域森林・林業活性化協議会で連携して誘致に取り組むこととしている。

問 美幌町単独での誘致は考えていないのか。

答 美幌町単独での安定した学校運営は難しいと考えている。美幌町は、FSC森林認証を取得し、高校に林業科があったという歴史や交通の要衝でもあることから、非常に条件は良いが名乗りは上げていない。



施設整備

問 公共インフラ劣化対策は十分か

吉住

博幸議員

答

長寿命化計画等により改修・更新を図っていく



問 高度経済成長期に整備した公共インフラの改修が日本全体の喫緊の課題となつてゐる。美幌町の対応は。

答 美幌町においても、過去に整備された公共施設等の老朽化が進んでおり、計画的な改修・更新を図つていくことが課題となつてゐる。道路、橋梁、公園、公営住宅、上下水道等、美幌町公共施設等総合管理計画のほか、長寿命化計画により維持管理、修繕、更新、取り壊しを進めていきたい。



地域担当技術職員

配置の考えは

問 地域担当の土木・建築技術者を配置し、公共インフラの適切な把握と対応を図つてはどうか。

答 現在、工事・修繕の設計や現場対応は、各担当主査が調整を図り、互いに連携して業務にあたつてゐる。今後においても、地域の課題解決に向け、生活基

盤である公共施設の建設や維持管理を適切に行い、技術的伝承と連携を深めていきたい。

公共施設整備

財源確保は

問 今後、整備する公共施設の規模及び費用はどの程度か。

答 今後、2026年までに更新を予定している施設として、東町集会所、役場庁舎、仲町団地、図書館、屋内多目的運動場、消防庁舎を予定しており、耐震不足となつてゐるスポーツセンターについては、耐震補強工事を予定している。

また他の施設についても、関係団体と協議を行いながら規模、費用を整備する予定となつてゐる。

問 今後、町の歳入(収入)

が減つていく事が予測されるが、投資的経費・維持補修費の支出見通しは。

答 12月末までには、投資的経費の見込を含めた後期財政運営計画をお示ししたい。

問 財源確保をどのように考えてゐるのか。

答 国・道からの補助金・交付金を模索すると共に、交付税措置の有利な過疎対策事業債をはじめ緊急防災・減債事業債、公共施設等適正管理推進事業債などの地方債(借金)を活用しながら整備を進めていきたい。また基金(貯金)の有効活用を行い、後年度に過度な負担を生じる事のないように備えをしつかりと行いたい。

除 排 雪

通学路確保

問 今年度、効率の良い除排雪をどのように行うのか。

答 除雪対象路線までの移動方法や作業内容などのミーティングを実施し

たい。また除雪シーズン前に委託業者を対象とした除雪会議において意見を伺い、効率的な排雪作業となるよう努めていきたい。

問 通学路の除雪が登校時間に間に合つてゐない現状があるが対策は。

答 一斉除雪出動基準については、降雪10cm以上を基本とし、車両通行量が少なくなる午前0時から開始し、登校時間の午前7時まで完了するよう実施しているが、一部の地域で間に合つてゐない。降雪量などを考慮し、一斉除雪開始時間を早めるなど通学路の確保に努めていきたい。



国保病院

問 白内障手術実施の可能性は

岡本
美代子議員 答

眼科医師不足のため大変厳しい状況



問 国保病院の眼科は、出張医での対応となっており、月曜日、火曜日の2日

と水曜日の午前中の診療となっており、白内障の手術のためには、町外に通院しなければならず、順番待ちも多数いることから患者さんは苦慮している。今後、国保病院で白内障の手術を行う体制を整える考えはないか。

答 白内障手術については北見赤十字病院、旭川医科大学等で行っているが、眼科医師不足の状況から4ヶ月から10ヶ月待ちの状況となっている。高齢者からの要望が高い



～町立国保病院～

問 毎週、白内障手術を行うのではなく、月に数回、手術を行うことも難しいのか。

答 現在、週2.5日の眼科外来診療を行っているが、仮に水曜日の午後から手術を行う場合、入院管理のため翌日、木曜日の午前中まで医師にいてもらうことになり、現在の医師不足の中、非常に困難である。また、月曜日の午後を休診して手術をした場合、1日平均40人の外来診療を後回しにしてしまう形になる。

国保病院スタッフ

体制は十分か

問 国保病院は、近年、専門性の高い多様な診療科の医師が多く着任し患者数が増加しているが、その診療を支える看護師や介護士などスタッフ体制は十分か伺いたい。

答 医療技術の進歩や診

療報酬の見直しに伴い、業務が複雑多様化しており、業務も増大していることから、看護師、看護補助者、薬剤師、臨床工学技士など継続的に募集を行っている。看護師の定着を図るため、時間外勤務の解消や安定的に休暇が取得できる体制など、働きやすい勤務環境を作ることも重要と考えている。必要な医療スタッフの確保に努めているとともに、限られた人員で最大の医療サービスが提供できるよう取り組んでいきたい。

問 看護師の資格は持っているが、働いていない方に対して研修等により復帰してもらう考えはないか。

答 潜在的に資格を持っているが家庭の事情等で働いていない方も町内に多くいると考えている。現状では、外部に研修制度を求めることは難しいが、現場での教育体制を充実させていきたい。

イベント用備品

更新計画は

問 軽くて使いやすいイベント用テーブル・椅子を購入し、貸し出しているが、数が十分でないため、古い重いものを使用し苦慮している。今後のテーブルや椅子の更新は。

答 テーブル・椅子の必要数については、規模の大きなイベントやイベントが重なった時に、年数回、軽いものでの対応ができない場合がある。今後、イベントの規模、保管場所、傷み具合などを考慮して更新計画を策定しながら進めていきたい。



～美幌ふるさと祭り～

鉄路廃止

問 石北線の維持・拡充の啓発が必要では

大江
道男議員 答

期成会を中心に手法を協議していききたい



問 J R石北線存続問題について、オホーツク圏活性化期成会定期総会において、国・道・自治体・J Rの役割、現状分析と課題の整理など協議・検討を進めると中間報告が示されたが、国や道の主体的な役割は。

答 国においては、北海道運輸局に「J R北海道の事業範囲見直しに係る持続可能な交通体系構築に向けた連携推進本部」を設置し、北海道及び沿線自治体と連携し、総合的かつ一体的な取り組みを推進していく方針が示されている。また、北海道においては、持続

的な鉄道網の維持についての検討・協議への参加・協力、国の抜本的支援要請、地域での取り組みへの協力などが示されている。



問 J R北海道が維持困難と示した石北線など10路線は、必要不可欠な鉄路であり、積極的な世論喚起が求められている。鉄路の維持・拡充の必要性を期成会が主体的に啓発する必要があるのか。

答 石北本線の重要性についてP Rを図るために、広報紙の活用やシンポジウム開催の取り組みを進めている。地域での世論形成の必要性は十分認識しており、どのような手法が良いのか期成会を中心に協議していききたい。

問 T P P問題の際には、全町的な取り組みが行われた。農業を基幹産業とする美幌町において、農作物を安全・大量に輸送できる鉄路を廃止することは絶対に見過ごせない問題である。その有用性を訴えるべきでは。

答 北海道は日本最大の食料基地としての役割もあることから、総合的に石北本線を守っていかねばならないと思っ

学校図書館

図書標準の達成は

問 美幌町の学校図書館に整備すべき蔵書の標準は、全国平均と比べて大きく遅れている。現状の達成状況や今後の計画は。

答 各学校の図書標準は、美幌小学校84.13%、東陽小学校108.49%、旭小学校109.76%、美幌中学校58.33%、北中学校97.11%となっており、2校が標準を達成している。今後は財政状況も勘案しながら、学校図書の計画的な更新を図っていき

学校司書

配置予定は

問 平成26年度から各学校に学校司書をおくよう努めなければならないとされているが、早急に学校司書の全校配置を実施すべきではないか。

答 次期学習指導要領で学校図書館の重要性が示され

るなど、整備充実を図る必要があると認識しており、今後財政状況を勘案し検討したい。

問 北海道での学校司書の配置率は全国ワースト2位となっている。学校司書配置を促進するためにも道に助成措置を講ずるよう要請すべきでは。

答 北海道による助成制度は現在ないが、あらゆる機会を通じて北海道に要望していきたい。

給食費無償

検討状況は

問 義務教育無償、子育て支援の両面から要望の強い学校給食費の無償（助成）措置が近年急速に広がっている。美幌町における検討状況は。

答 子育て支援については、医療費助成を優先的に取り組むこととしている。引き続き、子育て支援全体の中で、給食費助成も含め調査・研究していきたい。

平成29年度 第1回議会報告会・意見交換会を開催

～ 町民が使いやすい公共施設のあり方をテーマに意見交換 ～

7月24日(月)、今年度1回目の自治基本条例に基づく「議会報告会と意見交換会」を地域用水広報館(昼の部)としゃきっとプラザ集団健診ホール(夜の部)で開催し、20名の方が参加されました。

議会報告会

大原議長から、3月定例会・5月臨時会・6月定例会の審議内容(平成29年度当初予算、役場庁舎建設・屋内多目的運動場建設のための基金設立など)について報告しました。

意見交換会

議会報告会に引き続き、意見交換会を開催しました。「町民が使いやすい公共施設のあり方」をテーマに意見交換が行われました。主な内容は次のとおりです。

◆公共施設のあり方について

- ・人口減少に伴い、職員数も減少することが予想される。庁舎をコンパクトにできないか。
- ・町内の公共施設の場所が点在している。町民の利便性を考慮し、集約できないか。

◆情報発信について

- ・SNS(フェイスブック等)でイベントの情報発信がされているが、各種手続き等の住民サービスの情報を随時発信してはどうか。
- ・インターネットが利用できない方のために工夫を。

◆女満別空港から美幌町へのアクセスについて

- ・公共交通でのアクセスが不便。バスの運行(女満別空港→美幌町中心地)ができないか。



8月臨時会

国保病院医師確保の行政報告、
補正予算を審議し原案どおり可決

町長の行政報告(要旨)

◆美幌町立国民健康保険病院医師確保について

外科医師(森崎善久医師)の採用により常勤医師10名による診療体制となります。今後も質の高い医療サービスの提供に努め、地域医療を守る観点から将来を見据えた医師確保対策に取り組んでいきます。

補正予算

一般会計

- 子ども発達支援センター移転改修工事による増額補正 1,836万円
- 旧福豊小学校井水(せいすい)ポンプ修繕による増額補正 200万円

介護保険特別会計

- 過年度分の介護保険料還付に伴う増額補正 20万円

学力習熟度向上（石狩市花川小学校）、 移住定住対策（東川町）等を調査

総務文教厚生常任委員会 委員長 坂田 美栄子

総務文教厚生常任委員会（坂田・上杉・吉住・大江・橋本・中嶋・稲垣）は、8月28日～31日、道内先進事例を視察調査しました。

◆健康マイレージ事業 の取り組み

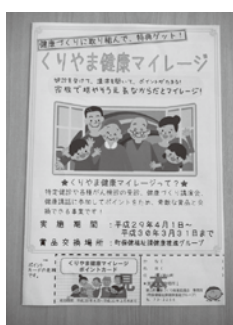
栗山町では、健診受診率や各種研修会の参加率向上のため、平成25年7月「くりやま健康マイレージ」事業をスタートしました。

健康づくり事業（研修会、講演会・各種健診の受診・町の各種イベント等）の参加者にポイントを付与し、貯めたポイントを「賞品」や「くりやまギフトカード」と交換しています。

人口の約2割の町民が参加し、特定健診受診率が平成25年度と比べ9%以上伸びる効果をあげ、世帯で参加し家族みんな

で健康づくりに取り組んでいるのが特色で、ポイント交換も町民から評価を受けています。

美幌町は北海道の実施事業を活用して本年度から取り組みを開始しましたので、今後参加状況を見ながら参考にします。



◆学力習熟度向上対策

石狩市立花川小学校では、学習規律の定着や基礎学力・体力の向上を目指し、地域・家庭との連携、若手教員の育成などを組み合わせた総合実践事業に取り組んでいます。

児童の実態把握、日常の授業づくりの工夫、補充的な学習指導など学校

全体がチーム一体となつて動いており、手があいた教員は他の授業を手伝うなど、教員が職員室に座っていないのが印象的でした。



～ 石狩市立花川小学校 ～

◆子どもの総合支援

石狩市では、保護者の病気など不安定な生活環境が一因とされる「子どもの貧困」に対応するため、子ども総合支援本部を立ち上げ、福祉・教育が連携し子どもの総合支援に取り組んでいます。

その要となる専門性を有した生活支援員・スクールソーシャルワーカーを福祉総務課に配置し、子ども・家庭に寄り添う形で学習面・生活面

含めた包括的な支援を行っています。

◆市立図書館の

運営管理について

滝川市では、老朽化と耐震強度の不足した図書館を市役所内の余剰スペースを活用して、市役所庁舎との複合化を実現しました。

市役所内に移転することにより、市行政に必要な資料の提供や市勢資料等の収集、保存の一元化が図られる効果があることや、市立病院や商店街にも近く、まちなか賑わいの創出にも寄与しています。

移転前に比べ来館利用者は3.7倍、貸し出し冊数も約2倍と成果が出ています。



～ 滝川市立図書館 ～

◆移住定住・人口減少 対策について

東川町では、様々な移住定住促進施策により、平成5年度に7,000人を割った人口を平成29年3月末8,126人まで回復させています。

地方創生には3ゲン（人間・資源・財源）が必要。「上水道、鉄道、国道がないが、東川には東京にはないものがある」とまちづくりの思いを町長からお聞きしました。また寄付を投資、寄付者を株主とする、ひがしかわ株主制度を創設し各事業に投資を受けているのも特徴的で、写真の町宣言、イベント写真甲子園などの取り組みは参考とすべきヒントがたくさんありました。



～ 議員の資質向上を目指して ～

政策議会への市民参加

8月14日、各議員の政務活動費を活用し、研修会を開催しました。

龍谷大学教授の土山希美枝氏を迎え、午前の部では、「政策議会と市民参加、議会改革の目指すところをとらえる」と題して講演をいただきました。

午後の部では、効果的な一般質問の仕方について、ワークショップ・意見交換を行いました。

一日の研修を通して、議会はどうのように市民の信託・負託に応えるのか理解を深めました。



日本の政治と経済を学ぶ

北海道町村議会議員研修会が7月4日、札幌市で開催され、全議員14名が出席しました。

慶應義塾大学教授の金子勝氏から『トランプ政権と日本経済―地域経済への影響は?』また、日本放送協会解説副委員長の

島田敏男氏からは『日本政治の昨日・今日・明日』と題した講演を受け、昨今の経済情勢や日本政治、今後の地方議会を取り巻く状況など、有意義な研修会となりました。



議会が身近になる広報誌づくりへ

議会広報研修会が8月22日、札幌市で開催され、本町議会からも議会運営委員の3名が出席しました。

研修会では、広報アナリストの吉村潔氏から『議会がもっと身近になる広報誌づくりへ』と題した講義を受け、議会広報紙の紙面編集のポイントを学び、今後の広報紙編集作業の参考となる研修会となりました。



議会を傍聴しませんか

定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)開かれ、議場入口にある受付票に住所及び氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

12月定例会は12月5日(火)頃から開かれる予定です

日程が正式に決まり次第、町のホームページなどでお知らせします。

議会ホームページもご覧ください

「本会議開会中のライブ中継」や常任委員会の開催日などもお知らせしています。

●美幌町ホームページ(<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp>)から「美幌町議会」をクリックしてください。

〈議会広報8月号(No.225)訂正について(お詫び)〉

議会広報8月号裏表紙「政務活動費使途別集計表」、大江道男議員の返還金「240,000円」とあるのは「0円」の誤りです。訂正してお詫びいたします。

あとがき

▼平成29年第5回定例会が終了し、町は新庁舎建設の基本構想策定に着手しました。議会として新庁舎等建設調査特別委員会を設置し、町民の意向に耳を傾けながら、町のシンボルに相応しい施設整備に最大限努力します。

▼今年は、明治20年の戸長役場開設後130年の節目に当たり、10月12日美幌130年祭が厳かに挙行されました。友好姉妹都市提携20年を迎えたニュージージランドケンブリッジの関係者が来町同席され、町民の皆さんと交流し親善を深めました。

▼開かれた議会づくりに取り組んでいます。皆さんの率直なご意見をお待ちしています。

(晃史)

議会運営委員会
委員長 橋本 博之
副委員長 戸澤 義典
委員 吉住 博幸
委員 上杉 晃央
委員 稲垣 淳一